

骨髄シンチグラフィによる骨転移と赤色髄の鑑別能に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2024年12月4日～2026年3月31日

〔研究課題〕

骨髄シンチグラフィによる骨転移と赤色髄の鑑別能について

〔研究目的〕

CT・MRI・PET 検査などで骨に病変が認められたケースで時々、悪性腫瘍の転移なのか、悪性ではない骨髄をみているのか、区別が難しい場合があります。このような時に、骨髄シンチグラフィ検査という核医学検査を行うと両者の区別が可能であるとの症例報告がこれまで少数ありましたが、特に SPECT 像を用いたまとまった症例数での検討は行われていません。そのため、骨転移と骨髄における骨髄シンチグラフィ検査の診断能を評価します。

〔研究意義〕

骨転移と骨髄を正しく診断することで、それ以上の過剰な精査・フォローアップ・治療を防ぐことができます。

〔対象・研究方法〕

2024年4月から2024年10月までに、CT・MRI・FDG-PET/CTなどを施行しても骨転移と骨髄の区別が困難であり、両者の区別を目的として骨髄シンチグラフィを施行した患者様10症例を対象とし、骨髄シンチグラフィの所見を放射線科読影専門医が判定し、最終診断との関係を検討します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院

〔個人情報の取り扱い〕

画像を含むすべての患者様の情報は個人が特定されないように情報を加工して取り扱われます。終了後、データは帝京大学臨床研究センターにて10年保管後廃棄します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：医学部放射線科学講座 准教授 山本麻子
住所：板橋区加賀 2-11-1 TEL：03-3964-1211 （代表）〔内線 7568〕